

- ・日時：令和2年3月6日（金）16：30～
- ・場所：県庁本館ドーム会議室

○副本部長（八矢副知事）

ただいまから、愛媛県新型コロナウイルス感染症対策本部会議を開催いたします。それでは、本部長である知事よりよろしくお願いいたします。

○本部長（知事）

先週に愛南町で、今週は松山市、県内で陽性反応が確認された症例が二つございましたけれども、初動が大事であるということで、本当に関係部局が頑張ってくれたと思います。

ある意味では、愛媛方式というやり方が初動段階において、こうやればいいという形は、確立できたかなと思いますけれども、先程、全て松山市の分も含めて、濃厚接触者全員の陰性が確認できましたので、クルーズ船の関係、愛南町の関係、松山市の関係そしてそれ以外の全県の検査、今の段階では、だいたい4つのカテゴリーでとらえるのがいいかなと思っていて、そのあたりの状況について、先程記者会見で伝えたところがございます。このあとは、保健福祉部のほうから、詳細は話してください。

もう1点は、一番懸念しているのが、それはもう本当にみんな共有しておくべきだと思いますけれども、今日から検査が保険適用になったということなのですが、一般の方々はニュースをそれだけ見てですね、ひょっとしたら、明日から近所で保険適用されるから検査に行こうとかですね、そういうアクションが起こりうる可能性があると思いますが、全くできません。今の段階で検査できる場所は、全国で7か所しかない、そういう状況ですから、これまで通り愛媛県内においては、検査ができる場所は、県立衛生環境研究所の1か所のみということですから、体制はなんら変わらないと。かつ来週からは、もう1台機械が入りますから、キャパが倍増しますけれども、これは国がですね、保険適用が悪いと言っているわけではなくて、どうするのか、これを受けて。民間への検査場所の拡大とかですね、そのための機械をどうやってゲットするのかなど、いろんな課題があると思います。またあの簡易キットが広がるのかもしれないけれども、これとて正確性がどうかとか、いろんな問題があると思うので、このあたりの対応は、国の動向を待つしかないもので、今我々は県でできることは全てやるということで対応していきたいと思います。

最後に、今日の記者会見を受けて、正しい情報をより早く、できる限り送るということが、冷静な県民の皆さんの行動につながるということで、一斉に今日中に動いてもらいたいと思いますので、時間と全てがこの問題は関わっているという意識を持ってやっていただきたいと思いますし、また都度都度、陽性反応がこれだけ全国で広がっていますから、出てこないとも言えないと。その時には、すぐに招集がかかるときもあると思いますので、土日も含めて管理職の皆さんは、必ず連絡がとれるように構えて、緊張感をもって対処していただきたいと思います。以上です。

○副本部長(八矢副知事)

ありがとうございました。保健福祉部より本日の記者発表資料の詳細と補足を申し上げます。

○本部員(保健福祉部長)

保健福祉部です。お手元に資料ございます、まず県内の状況という一覧をお願いいたします。本日15時現在の検査判明分116件ございます。陽性者2件、114件は全て陰性ということでございます。重症者、死亡者はもちろんございません。これまでいくつかフェーズがございました。クルーズ船の下船者7名の方、これは検査を受けていただく義務はございませんが、県がお願いをして協力をさせていただいた結果、全て陰性でございます。厚労省が定める健康観察期間14日間が本日で満了します。本日まで誰一人異常があった方はございません。そういう状況でございます。

1例目というのは、3月2日に初感染として愛南町で確認された事例でございます。ご本人、ご家族、それから職場の皆さん等、32名の方の検査をいたしまして、ご本人のみが陽性ということですが、この方は全く症状のない方でございます。現在は感染症指定医療機関に入院をされておりますが、症状がないまま過ごされております。

2例目でございますが、3月4日に松山市で感染が確認された事例でございます。この方も、ご家族それから職場の方等々の関係者の検査結果が、本日全て判明をいたしまして、ご本人を除いて、全て陰性でございます。なお、ご本人は現在熱も下がっており、少し倦怠感があると聞いておりますが、同じく感染症指定医療機関に入院されて、治療を受けておられます。

この3つの事例以外にも、県内各保健所から医師等が必要と判断したものについては、全て検査を実施しております。それがこれまでに50件、全て陰性という状況でございます。従いまして、現時点での総括といたしまして、陽性が確認されたお二人から周囲に感染が広がっている状況ではないと判断をされるということ、それから愛媛県内で不特定多数の者があちこちで感染しているという状況は確認されていませので、こういった現状を正しくお伝えをして、まず県民の皆様が安心して冷静な行動をとっていただくことが重要と考えております。具体的な相談窓口の体制も明日から強化をいたします。これまででは一般相談窓口は、県は県保健所で、松山市は松山市保健所で、夜9時までの対応でしたが、これを松山市と共同で、コールセンターを設置をいたしまして、明日朝9時から土日祝日を含め、24時間対応をいたします。県民の安心につながる窓口の強化ということでございます。帰国者・接触者相談センターは、具体的な発熱等の症状が続いており、医療機関を受診したいという方の相談を受ける窓口でございます。これは、既に24時間対応をしておりますが、県と松山市が別々の窓口でございました。これも一本化をいたしまして、来週月曜日の21時からこの相談センターを開所することとしております。いろいろと不安の声も寄せられておりますが、こういった丁寧な相談対応によって、なるべくその不安を和らげる、正しい理解をしていただくということを進めて参りたいと考えております。以上でございます。

○副本部長(八矢副知事)

他に各部から報告するような内容ございますか。よろしいですか。私から若干補足ですが、この表について、1例目の愛南町の事例につきましては、そもそも患者ではないと、国の本来の基準であれば、発症してから関与した人が濃厚接触者ですので、この方の周りの方々、職場の周りの方々は、正式な濃厚接触者には、そもそもあたらないという状況です。発症もされてない方々ですので、それ以外の方々も調べて、全く陽性反応が出ない、皆さん陰性と。県民の方々の中には、大阪への移動、あるいは東京への移動のために空港を使った、あるいはバスを使ったというような話がありますけれども、一番身近に過ごしている方が陰性であると。それから、松山市の方もご家族で過ごしている一番近くの方が、陰性であるという事実がありますので、その他いろんなところに若干、生活上立ち寄ったところはあるかもしれませんが、一番近くの方が陰性だということですので、安心してくださいと。それから松山市以外も含めて、いろんな医師からの要請があるものを保健所が対応できない、あるいは断っている事例は、先程、知事からも記者発表ありましたけれども、一切県内では発生しておりませんので、県下で他に発生しているという事例はありませんと、この事実をお伝えいただければというふうに思います。また、今作成中の文書を、各部から関係団体に流していただくという指示はしておりますので、各部で準備していただいていると思いますが、本部長から指示がありました通り、本日中に関係団体に各部から送るということでよろしいでしょうか。

○本部長(知事)

もう一つ全員で確認、共有してもらいたいのは、国の専門家会議が発表していますけれども、感染されている方の中で、8割の方は人への感染がないと。2割の方が、これは濃淡があるのだけれども、あるいは個人個人の違いや発症時期の違いで、全然異なる結果が出ているようなのですけれども、中には、クラスターというような形で表現されているような感染力の強い方もいらっしゃる、この2割の中にはいらっしゃるということだそうです。

それからもう一点は、これはWHOの発表ですけれども、重症化については大半がやはり、高齢者及び糖尿病であるとか心臓疾患であるとか、何らかの病気をもって抵抗力が弱い方々に、傾向が強くなるということだそうですので、ここは基本ではないかなというふうに思います。以上です。

○副本部長(八矢副知事)

ありがとうございました。それでは以上で愛媛県新型コロナウイルス感染症対策本部会議を終了いたします。散会してください。